

北海道における新しい VHF 散乱波の観測網と最近の地震

Observation network for VHF scattering waves and records of recent earthquakes

森谷 武男[1]

Takeo Moriya[1]

[1] 北大・理・地球惑星

[1] Earth and Planetary Sci., Hokkaido Univ.

<http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~moriya>

森谷武男・茂木透・高田真秀・笠原稔（北大理院）

北海道における VHF 散乱波の観測は 2002 年 12 月から本格化したが、試行錯誤の結果、本州中部以遠の領域は監視が困難であることがわかってきた。中越地震や紀伊半島沖地震の散乱波は観測されなかった。北海道から監視できる領域は東北・関東の太平洋側と秋田県である。北海道では近距離の観測が効果的であることがわかり、放送局と観測点間の距離を 30-100 km 程度に設定することで監視領域の制度を高くすることができた。2004 年 12 月には厚岸に観測点を増設し 60-100km の距離にある根室、弟子屈、および網走局を監視することにした。また 64MHz の移動無線局を発信源にする計画も考慮中である。この発信局を活断層や近い将来考えられる地震発生地点に設置することでより PASSIVE な観測が可能になるであろう。この発表では 2004 年 12 月の苫前地震など最近の地震に係した散乱波の記録を示す。